

《担当者名》 泉唯史 鈴木英樹 吉田晋 高橋尚明 鎌田樹寛 坂上哲可 才川悦子

【概要】

社会構造変化に応じたリハビリテーション教育や社会の要請に適応できる科学的根拠に基づくリハビリテーション医療を組織的かつ教育的に進めていくために、組織や地域におけるシステムティックな教育及び介入法の開発及び構築について文献や議論を通して検討し、研究課題の方向性を探索する。

【学修目標】

1. 臨床実践指導者に求められる教育的且つ組織的戦略について一定の見解を持ち説明することが出来る。
2. 若手育成能力及び多職種連携と職域拡大の方法について一定の見解を持ち説明することが出来る。
3. 地域リハビリテーションの展開に必要な教育的・組織的戦略について一定の見解を持ち説明することが出来る。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1 }	医療機関におけるリハビリテーションの組織的展開	理学療法を中心としたリハビリテーションの組織的展開について理解する	泉 唯史
2			
3	医療機関におけるリハビリテーションの組織的展開	作業療法を中心としたリハビリテーションの組織的展開について理解する	坂上哲可
4	地域におけるリハビリテーションの組織的展開	地域における介護予防を目的としたリハビリテーションの組織的展開について理解する	鈴木英樹
5	地域におけるリハビリテーションの組織的展開	地域における聴覚音声言語障害、コミュニケーション障害の組織的展開について理解する。	才川悦子
6	医療機関及び地域におけるリハビリテーションの組織的展開	医療機関や地域における多職種連携を基軸としたリハビリテーションの組織的展開について理解する	吉田 晋
7	地域におけるリハビリテーションの組織的展開	地域における高齢者及び認知症者に対するリハビリテーションの組織的展開について理解する	鎌田樹寛
8	医療機関及び地域におけるリハビリテーションの組織的展開	医療機関や地域における呼吸器疾患患者に対するリハビリテーションの組織的展開について理解する	高橋尚明

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

講義の中でのディスカッションや課題レポートにより総合的に評価する。（100％）

【教科書】

特に指定しない

【参考書】

講義の中で随時紹介する

【学修の準備】

参考文献以外にも関連分野の文献等を各自調査し学習すること（80分）

担当教員より事前課題を提示される場合があるので、その課題についての意見を持って臨むこと。（80分）

【実務経験】

泉唯史 鈴木英樹 吉田晋 高橋尚明（理学療法士）

鎌田樹寛 坂上哲可（作業療法士）

才川悦子（医師）